

DryBell



SEP
VOL.137
2014

DryBell（ドライベル）は、クロアチア中部のドニヤ・ストゥビツアで2012年1月に誕生した、エフェクトペダル・ブランドです。スタッフの全員がギタリストやシンガーなど何らかの形で音楽に関わっており、家族的なチームワークで全ての製造工程をハンドメイドで行っています。チームのリーダーは、創始者で回路デザイナーのズヴォンコ・シュホドルシャン（Zvonko Suhodol_an）。1979年生まれのズヴォンコは、ロックやブルースのギタリストとして活動する傍ら、1995年頃からアンプやエフェクターの製作を始めました。彼が作った機材を愛用するクロアチア内外のプロフェッショナルミュージシャンは、優に100名を超えてます。2012年、ズヴォンコはあくまでも趣味だった音楽機材づくりを本業とすべく、DryBellを立ち上げます。根気強いリサーチと試作を経て発売されたVibe Machineは、登場するなり欧米のギター誌やレヴューサイトで絶賛され、バックオーダーを常に抱えるベストセラーとなりました。DryBellの目標は、今までなかったような、もしくはかつて存在しても今では万人に手に入りづらくなってしまったような機材を製作し、それを手にしたプレイヤーにGOOD FEELINGを感じてもらうこと。そのためにズヴォンコとスタッフ達は常に現状に満足せず、日々研鑽を続けています。

Vibe Machine™

本体価格 ¥Open Price [製品番号：3010]



○主要スペック

- 112×60×31mmというコンパクトサイズでUni-Vibeの機能と構成を完全再現。
- モジュレーションスピードをエクスプレッション・ペダルでリアルタイムコントロール可能。また、レスリー・スピーカーの加速／減速感をシミュレートしたモードも搭載。
- 種々の国産・輸入エクスプレッション・ペダルに対応し、機種に合わせたキャリブレーションが可能。
- 出力音量とモジュレーションの詳細設定（RANGE&SYMMETRY）を、側面のトリマーでプリセット可能。
- サウンドキャラクターはオリジナルUni-Vibeを踏襲した“ORIGINAL”と、モダンな“BRIGHT”的2モード。
- トゥルーバイパス仕様フットスイッチ。
- 複数のエフェクトチェインや長いシールドケーブルの使用時に威力を発揮するバッファーを搭載（エフェクトON時のみ、内部ジャンパピンにて使用／不使用を設定可能）。
- メインOUTPUTに加えエフェクトON時のアクティブになるTFC OUTを装備。
- 光反応素子をはじめとする高品質・高信頼性のパーツを完全ハンドメイドでコンポーネント。
- 一般的なセンターマイナス9VDCアダプターによる外部電源駆動（消費電力約130mA、乾電池は使用できません）。

・ ヴァイブ・マシーン（Vibe Machine V-1）は、エフェクター史において唯一無二の輝きを放ったUni-Vibeのサウンドと機能を、コンパクトサイズで完璧に再現したモジュレーション・ペダル。Vibe Machineと他社のUni-Vibeをイメージしたペダルの決定的な違いは、サウンドのみならず動作原理をも忠実に踏襲していること。心臓部にはスペシャルオーダーされた光反応素子を使用し、Uni-Vibe特有のウネリのあるコーラスとビブラートを再現しました。もちろん、エクスプレッション・ペダルを接続してのリアルタイムコントロールも可能です。また、ヴィンテージUni-Vibeのやや影のあるサウンドを再現したORIGINALモードに加えて、より明快でモダンな演奏スタイルにマッチするBRIGHTモードを搭載。現在のニーズに対応するフレキシビリティを獲得しています。エフェクトON時のみ出力される“TFC OUT”や、エフェクトON時の出力を内部のジャンパピンによりバッファーあり／なしで切り替えられる機能も、様々な機材との接続に役立つでしょう。トゥルーバイパス仕様のフットスイッチ、モジュレーションサイクルに合わせて明滅するLEDインジケーター、一般的なセンターマイナス9VDCアダプターへの対応など、ブティック・ペダルに要求される基本スペックも完璧です。J・ヘンドリックスやJ・E・ディビスでお馴染みのUni-Vibeサウンドを求めるプレイヤーにとって、本機はベストの選択肢となることでしょう。



株式会社モントルー

〒187-0032 東京都小平市小川町2-1295-20
ガーデンヒルズ B-102 TEL : 042(202)0479

www.montreuxguitars.com